

# TOP INTERVIEW

サーティーフォー（緑区橋本）が、今年度に新規事業を立ち上げます。住宅建築や不動産業が柱の同社ですが、また多くの異業種となる「人材マッチング」のビジネスに進出します。日本の大学や大学院、専門学校で学んでいるスキルを持つた外国人留学生たちが、卒業後に活躍する場として、中堅・中小企業を紹介。企業のグローバル展開を後押しし、人材不足解消につなげようとする事業です。現在、立ち上げに奔走している同社人材マッチング事業部部長の唐橋宗三さんに詳細を聞きました。

—異業種から人材ビジネスに参入します。その理由を教えて下さい。

「当社のメインは不動産業ですが、業界的にも波があるビジネスです。そこで、関係がない新分野での事業を始めることで、たとえ不動産が落ち込んでもカバーし、会社として安定成長につなげる狙いがあります。もともと私自身、米国に8年間留学していたのですが、その経験が人材マッチング事業を始めるきっかけ

となりました。大手製造業と中規模企業を結ぶマッチングスを運営するリンクアーズ（本社・東京）にインターンしていったことも大きいです」

—具体的にどのような経験で

「高校から大学卒業後まで米国で生活していましたが、米国に住んでいた人にとってトヨタやホンダは有名です。しかし、日本には大手でなくとも、ものづくりで高い技術力がある中小企業は数多くあります。しかし、世界の人々は知りません。だつたら、中小企業の国際化を人材面からバックアップできたらと考えました」

—現在、事業化に向けて準備されています。

「『Speak（スピーカー）』という名称で、中小企業向けにグローバル人材採用のためのプラットフォームを構築していきます。『眞の国際化』を支援する事業として、在日外国人留学生と中堅・中小企業をマッ

## 外国人留学生とマッチング

# 中小企業の国際化 人材面でサポート

株式会社サーティーフォー

**唐橋 宗三さん**

「はい。まだ事業化前なので、詳しくはお話しできませんが、サービスの肝はアフターフォローであり、特に『メンター制度』です。働く外国人留学生・雇う中堅中小企業とも、文化など目に見えない部分での違いに戸惑うことがあります。だからこそ紹介して終わりではなく、定着するマッチングを目指しアフターフォローをしていきます」

のコミュニケーションもできる日本語レベルを持った人材をイメージしています」

—すでにマッチングまでの仕組みもできているのですね。

「『S P e a k（スピーカー）』は、まだ事業化前なので、詳しくはお話しできませんが、サービスの肝はアフターフォローであり、特に『メンター制度』です。働く外国人留学生・雇う中堅中小企業とも、文化など目に見えない部分での違いに戸惑うことがあります。だからこそ紹介して終わりではなく、定着するマッチングを目指しアフターフォローをしていきます」

